

令和2年度 瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議 次第

日時 令和2年7月27日(月)
午後1時30分～午後3時45分
場所 瀬戸内市役所 2階 大会議室

1 開会

2 委員委嘱

3 あいさつ

4 議事

(1) 瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略におけるK P Iの状況について 資料1

(2) 令和元年度地方創生関連事業の効果検証について

① 地方創生推進交付金活用事業 資料2

- ・アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業

② 地方創生拠点整備交付金活用事業 資料3

- ・備前長船刀剣博物館展示室等整備事業

③ 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)活用事業 資料4

- ・ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクト
- ・瀬戸内市 JR 駅前等整備プロジェクト
- ・国宝「山鳥毛」購入活用プロジェクト
- ・夢二のふるさと芸術交流プロジェクト

④ 地方創生汚水処理施設整備推進交付金 資料5

- ・きれいな水を未来へ渡すまち瀬戸内市再生計画

(3) その他

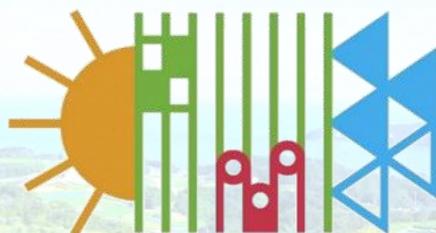
5 閉会

瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議委員(令和2年度)

区分	氏名	所属等
産業	元浜 詳一	瀬戸内市商工会 会長
	秋山 秀行	瀬戸内市観光協会 会長
	阿部 浩一	岡山市農業協同組合瀬戸内営農センター センター長
官公庁	江端 恭臣	岡山県備前県民局 地域づくり推進課長
学校	海宝 賢一郎	岡山商科大学経営学部 教授
金融	梶野 英彦	中国銀行 邑久支店 支店長
労働	伊丹 貞男	連合岡山 岡山地域連絡会 事務局長
言論	岡山 一郎	株式会社山陽新聞社 編集委員室長
NPO 等	石原 達也	NPO 法人 みんなの集落研究所 代表執行役
子育て	上野 洋子	瀬戸内市主任児童委員

瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略 KPIの検証について

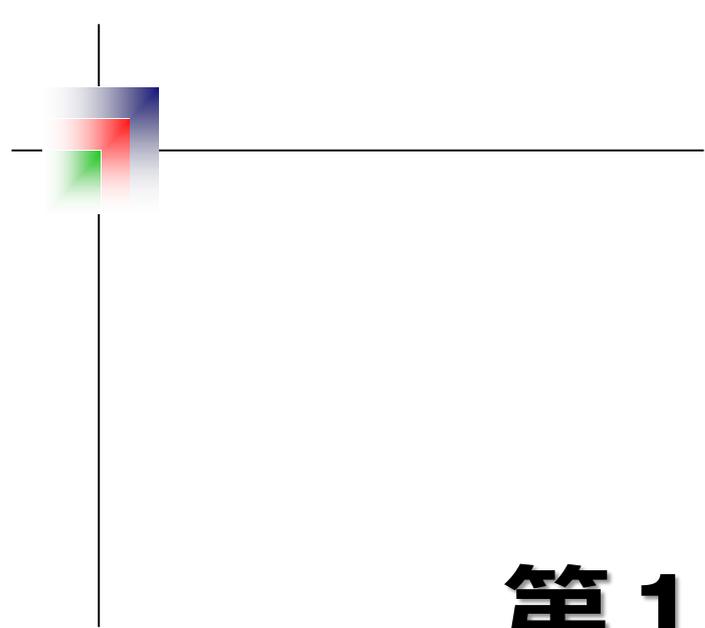
まっすぐ、しあわせ。



瀬戸内市

令和2年7月

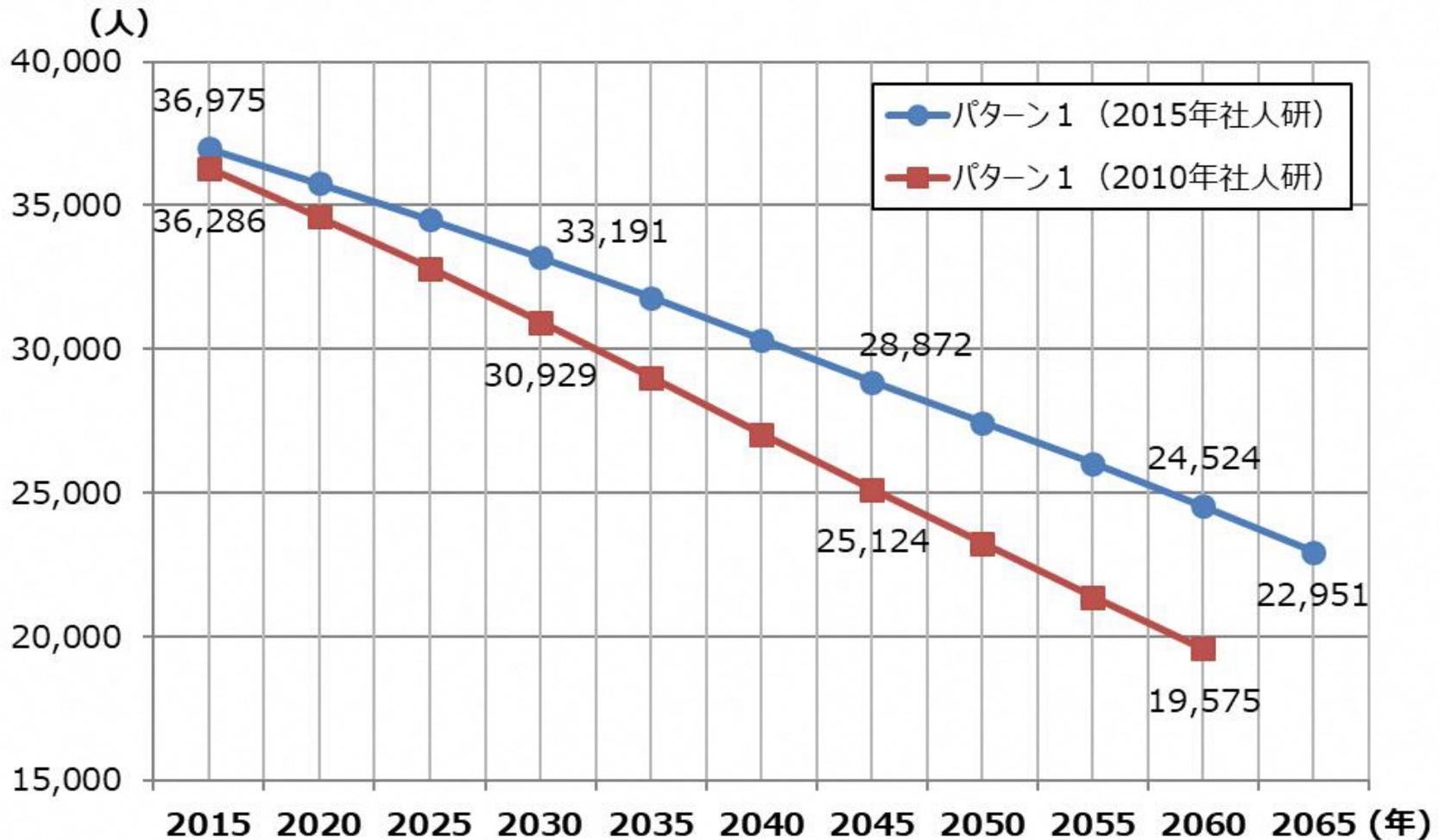
総合政策部 企画振興課



第1期の成果と課題

将来人口推計の推移

社人研の2010年推計と2015年推計を比較すると、2045(令和27)年で約3,700人、2060年(令和42)年で約5,000人の人口減少の抑制となっている。今後も引き続き地方創生の取組を推進することが、人口減少を抑制し、市の持続的発展につながると考えられる。



KPI検証の考え方

【効果検証の考え方】

○達成

数値目標を定めており、目標を達成した

○おおむね達成

目標達成には至っていないが、目標達成に向け進捗した(進捗率70%以上)

※進捗率については以下の計算により各時点での進捗率を算出
(基準値－はゼロとみなす)

$$\text{進捗率} = (\text{各時点の値} - \text{基準値}) \div (\text{目標値} - \text{基準値}) \times 100(\%)$$

○未達成

目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない(進捗率70%未満)

※統計上実績値の把握が不可能なものについては、できる限り他の参考数値を記載。

基本目標等のKPIの現状について

達成状況	全体					
	基本目標 1 (しごとづくり)	基本目標 2 (移住定住交流)	基本目標 3 (結婚出産子育て)	基本目標 4 (まちづくり)		
達成	23件 (52%)	8件 (80%)	5件 (46%)	7件 (58%)	3件 (27%)	
おおむね達成	8件 (18%)	1件(10%)	2件 (18%)	3件 (25%)	2件 (18%)	
進捗率	90%以上100%未満	4件 (50%)	1件 (100%)	1件 (50%)	1件 (33%)	1件 (50%)
	70%以上90%未満	4件 (50%)	0件	1件 (50%)	2件 (67%)	1件 (50%)
未達成	13件 (30%)	1件 (10%)	4件 (36%)	2件 (17%)	6件 (55%)	
合計	44件	10件	11件	12件	11件	

成果と課題

<目標値を達成したKPI>

- 創業塾から生まれた創業者数
- ブランド認定商品数
- 創業塾参加者数
- 創業相談件数
- 工業団地分譲割合
- 新規就業者数(農業・漁業)
- おかやま子育て応援宣言企業の登録数
- テレワーク実証事業実施人数
- 社会動態増減数
- 県外相談会における相談件数
- 瀬戸内市を住みやすいと感じる市民の割合
- 市観光HP閲覧数
- 作成した周遊ルート数
- 地域子育て支援センター利用者数
- ファミリーサポートセンター利用件数
- 三世帯住宅リフォーム補助申請件数
- 積極的に育児をしている父親の割合
- 学校に行くのは楽しいと思う小中学生の割合
- 図書館入館者数
- スポーツ施設年間利用者数
- 供用開始区域の水洗化率
- 人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせて住みやすいと感じる市民の割合
- 連携中枢都市圏による連携事業数

<目標値未達成のKPI>

- 商工業者が意欲的に取り組んでいると感じる市民の割合
- 市内関連施設観光客入込数
- 瀬戸内市に愛着がある市民の割合
- 移住HP閲覧数
- にぎわいと活気のある観光のまちであると感じる市民の割合
- 合計特殊出生率
- 20歳から39歳の社会動態増減数
- 今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合
- 計画的に土地利用が進められていると思う土地の割合
- 公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合
- いつでも安心して医療サービスを受けられると感じる市民の割合
- 協働提案事業数
- 地域コミュニティ活動に参加している市民の割合

第2期総合戦略ではKPIの設定とKPI値の見直しを行っています。

「しごとづくり」や「移住・定住施策」等の充実により、人口の社会増が続き、人口ビジョンに掲げた将来目標人口を達成できる見込みとなったが、合計特殊出生率は目標を大きく下回っている。

市民まちづくり意識調査をもとにしたKPIでは、目標値を達成していない項目が多くみられる。様々な要因が複合的に影響していると考えられるため、様々な施策によるアプローチで目標達成に向けて引き続き取り組んでいく。

1. 地元ではたらくことができるまち

NO	指標名称	取得方法	基準値 (策定時)	H28.3現在 (H27年度実績)	H29.3現在 (H28年度実績)	H30.3現在 (H29年度実績)	H31.3現在 (H30年度実績)	R2.3現在 (R元年度実績)	目標値 (R元年度)	進捗	備考
1	市内事業所就業者数	経済センサス (RESAS)	13,626人 (H24)	-	13,969人 (H28)	-	-	- [92%]	14,000人	おおむね 達成	
2	創業塾から生まれた創業者数	担当課調査	-	1人	11人(累計)	21人(累計)	32人(累計)	40人(累計)	20人(累計)	達成	
3	ブランド認定商品数	担当課調査	12品 (H26)	12品	29品(累計)	29品(累計)	29品(累計)	29品(累計)	22品(累計)	達成	
4	創業塾参加者数	担当課調査	-	3人	14人	14人	26人	24人	15人(年間)	達成	
5	創業相談件数	担当課調査	-	31件	26件	33人	46件	51件	30件(年間)	達成	
6	工業団地分譲割合(市営)	担当課調査	51% (H26)	51%	66%	66%	96%	100%	100%	達成	
7	新規就業者数(農業・漁業)	担当課調査	6人 (年間)	4人	3人	9人	8人	4人	6人(年間)	達成	H29-H30は目標達成。R1未達成は産地における新規就業者の受入が困難となったため。
8	商工業者が意欲的に事業に取り組んでいると感じる市民の割合	市民まちづくり意識調査	22.8% (H26)	-	22.6%	-	25.6%	- [28%]	32.8%	未達成	
9	おかやま子育て応援宣言企業の登録数	岡山県HP	7 (H26)	7	9	11	11	11	9	達成	
10	テレワーク実証事業実施人数	担当課調査	-	1人(累計)	7人(累計)	23人(累計)	38人(累計)	38人(累計)	20人(累計)	達成	

2.「このまちに来たい」「このまちで家族と暮らしたい」と思われるまち

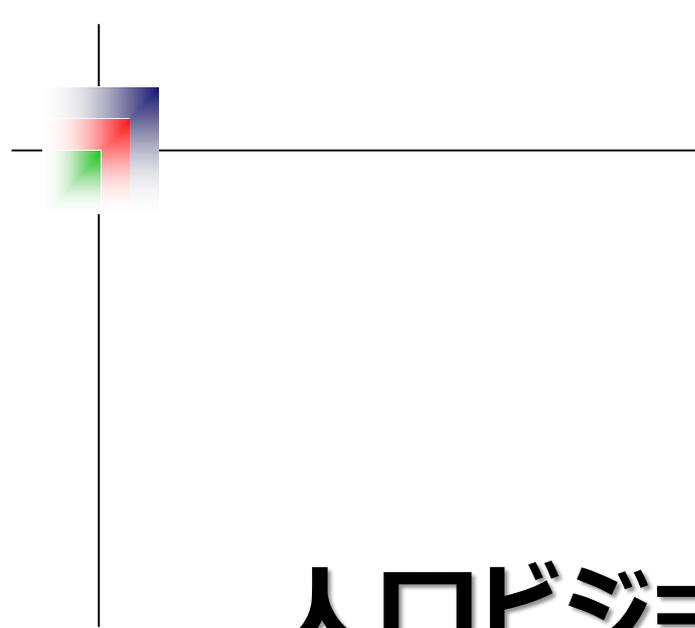
NO	指標名称	取得方法	基準値 (策定時)	H28.3現在 (H27年度実績)	H29.3現在 (H28年度実績)	H30.3現在 (H29年度実績)	H31.3現在 (H30年度実績)	R2.3現在 (R元年度実績)	目標値 (R元年度)	進捗	備考
1	社会動態増減数	統計	△275人 (H27推計値)	-	242人 (H27国勢調査)	-	-	266 (R2推計値)	△68人	達成	住民基本台帳ベースではR元年度実績△220人(日本人のみは81人)
2	市内関連施設観光客入込数	担当課調査	100,355人 (H26)	101,289人	87,607人	72,366人	70,412人	85,714人	105,000人	未達成	
3	瀬戸内市を誇りに思う市民の割合	市民まちづくり意識調査	43.8% (H26)	-	50.9%	-	53.6%	- [98%]	53.8%	おおむね達成	
4	瀬戸内市に愛着がある市民の割合	市民まちづくり意識調査	79.8% (H26)	-	-	-	82.3%	- [25%]	89.8%	未達成	
5	県外相談会における相談件数	担当課調査	91件 (H26)	110件	100件	92件	81件	142件	100件	達成	
6	移住者数(相談会参加者)	担当課調査	1人 (H26)	6人	12人	4人	4人	4人 [75%]	5人(年間)	おおむね達成	
7	移住HP閲覧数	担当課調査	25,000 (H26推計値)	22,380	21,420	23,612	18,669	17,988	30,000 (年間)	未達成	
8	瀬戸内市を住みやすいと感じる市民の割合	市民まちづくり意識調査	66.7% (H26)	-	75.9%	-	78.7%	-	76.7%	達成	
9	市観光HP閲覧数	担当課調査	73,000 (H26推計値)	76,468	90,461	94,393	107,839	84,476	77,000 (年間)	達成	
10	にぎわいと活気のある観光のまちであると感じる市民の割合	市民まちづくり意識調査	23.0% (H26)	-	22.4%	-	22.8%	-	33%	未達成	
11	作成した周遊ルート数	担当課調査	6ルート (H26)	6ルート	9ルート(累計)	13ルート(累計)	17ルート(累計)	21ルート (累計)	21ルート (累計)	達成	

3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち

NO	指標名称	取得方法	基準値 (策定時)	H28.3現在 (H27年度実績)	H29.3現在 (H28年度実績)	H30.3現在 (H29年度実績)	H31.3現在 (H30年度実績)	R2.3現在 (R元年度実績)	目標値 (R元年度)	進捗	備考
1	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思う市民の割合	市民まちづくり意識調査	51.2% (H26)	-	59.7%	-	60.7%	- [95%]	61.2%	おおむね達成	
2	合計特殊出生率	岡山県統計調査	1.34 (H27推計値)	-	1.32(H27) <1.27>	1.51(H28) <1.44>	1.27(H29)	1.37(H30) [30%]	1.44	未達成	H30年度実績から新算出方法による(<>は従来方法による出生率)
3	20歳から39歳の社会動態増減数	統計	△248人 (H27推計値)	-	△139人 (H27国勢調査)	-	-	△196人(R2推計値) [27%]	△54人	未達成	住民基本台帳ベースではR元年度実績△101人
4	婚活・結婚応援イベント参加者数	担当課調査	-	40人	62人(累計)	125人(累計)	156人(累計)	164人(累計) [82%]	200人(累計)	おおむね達成	
5	地域子育て支援センター利用者数(年間)	担当課調査	21,993人 (H26)	26,014人	23,595人	21,882人	19,767人	15,410人	23,030人	達成	H27~H28は目標達成
6	ファミリーサポートセンター利用件数	担当課調査	48件 (H26)	297件	36件	249件	328件	379件	53件	達成	
7	三世代住宅リフォーム補助申請件数	担当課調査	-	2件	4件	10件	5件	0件	10件	達成	H29目標達成 H30は予算額上限まで申請あり。R1は予算無し。
8	積極的に育児をしている父親の割合	担当課調査	-	57.9%	45.4%	57.1%	60.80%	59.8%	55.0%	達成	
9	安心して子どもを産み、育てられると感じている市民の割合	担当課調査	57.1% (H26)	-	63.4%	-	64.5%	- [74%]	67.1%	おおむね達成	
10	学校に行くのは楽しいと思う小中学生の割合(小6・中3)	担当課調査	小学生： 84.3%(H26) 中学生： 82.3%(H26)	小学生： 85.9% 中学生： 85.5%	小学生： 88.6% 中学生： 88.2%	小学生： 87.0% 中学生： 82.4%	-	小学生： 93.7% 中学生： 88.4%	小学生： 87.0% 中学生： 82.3%	達成	H30は学力・学習状況調査から設問が削除されたため未計測
11	図書館入館者数	担当課調査	-	70,972人	143,096人	158,847人	186,961人	176,067人	171,600人	達成	
12	スポーツ施設年間利用者数	担当課調査	139,244人	144,010人	145,688人	151,123人	126,954人	126,678人	146,206人	達成	H29に目標達成 R1は牛窓体育館の利用を中止したため利用者数減

4.時代に合った地域づくりができ、安心して暮らせるまち

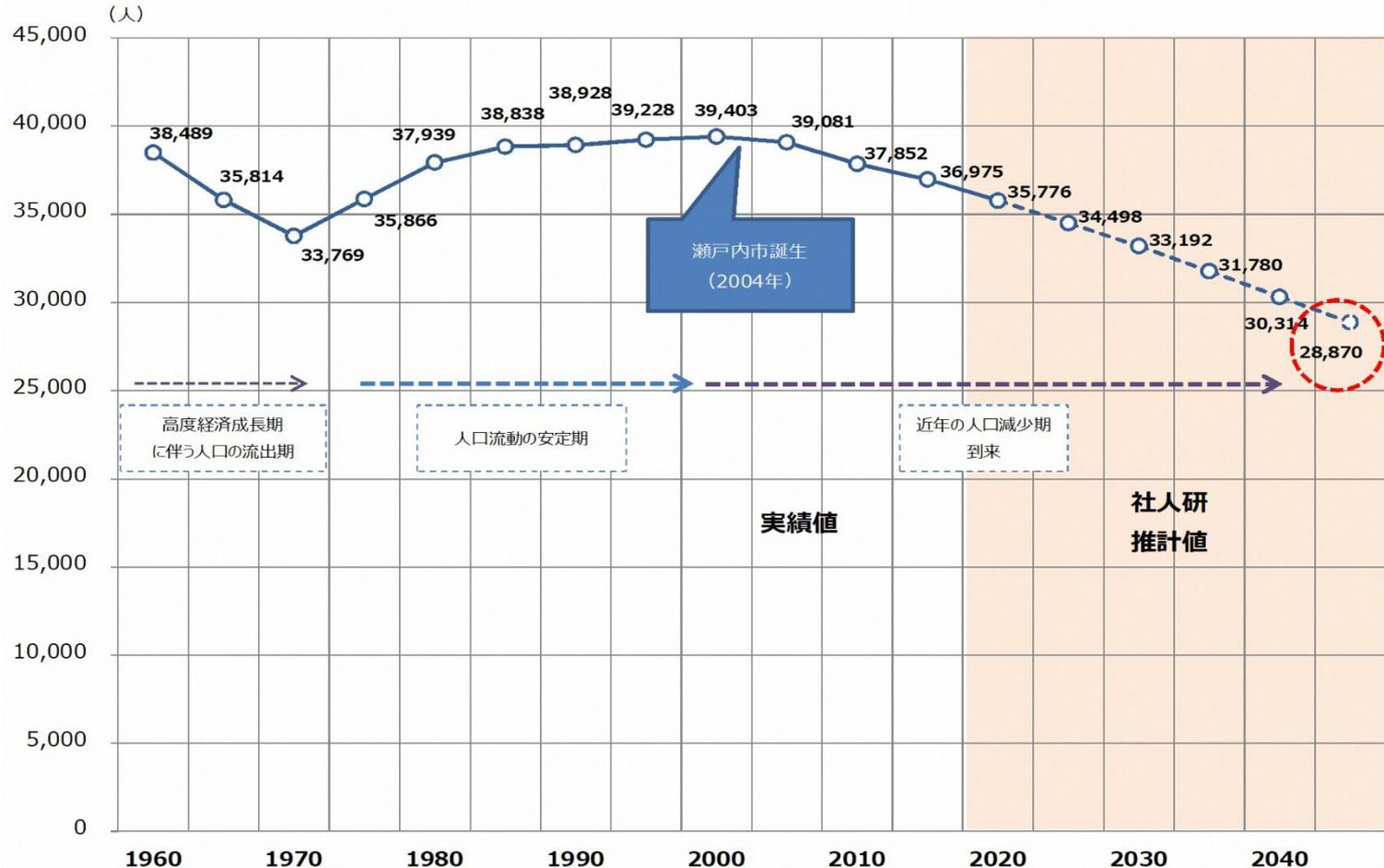
NO	指標名称	取得方法	基準値 (策定時)	H28.3現在 (H27年度実績)	H29.3現在 (H28年度実績)	H30.3現在 (H29年度実績)	H31.3現在 (H30年度実績)	R2.3現在 (R元年度実績)	目標値 (R元年度)	進捗	備考
1	今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合	担当課調査	86.9% (H26)	-	-	-	84.4%	-	90.0%	未達成	
2	計画的に土地利用が進められていると思う土地の割合	市民まちづくり意識調査	27.2% (H26)	-	30.8%	-	30.7%	- [35%]	37.2%	未達成	
3	公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合	市民まちづくり意識調査	22.5% (H26)	-	23.7%	-	24.7%	- [22%]	32.5%	未達成	
4	下水道普及率	担当課調査	38.9% (H26)	39.5%	40.8%	41.5%	42.3%	43.2% [74%]	44.7%	おおむね達成	
5	供用開始区域の水洗化率	担当課調査	68.9% (H26)	70.8%	73.5%	74.2%	76.5%	78.1%	76.3%	達成	
6	人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせて住みやすいと感じる市民の割合	市民まちづくり意識調査	57.9% (H26)	-	66.3%	-	78.7%	-	67.9%	達成	
7	いつでも安心して医療サービスを受けられると感じる市民の割合	市民まちづくり意識調査	50.4% (H26)	-	54.0%	-	57.2%	- [68%]	60.4%	未達成	
8	協働提案事業数	担当課調査	-	5件	3件	5件	6件	4件 [40%]	10件(年間)	未達成	
9	地域コミュニティ活動に参加している市民の割合	市民まちづくり意識調査	44.9% (H26)	-	51.2%	-	49.2%	- [43%]	54.9%	未達成	
10	地域おこし協力隊員数	担当課調査	3人 (H26)	4人(累計)	7人(累計)	10人(累計)	13人(累計)	14人(累計) [92%]	15人(累計)	おおむね達成	
11	連携中枢都市圏による連携事業数	担当課調査	-	0件	16件	17件	20件	20件	10件	達成	



人口ビジョン(令和2年3月改訂) 及び第2期総合戦略

本市の総人口の推移と将来推計

本市の総人口は、2000(平成12)年の39,403人をピークに減少し続けている。国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)によると、**2045(令和27)年には28,870人**になるとされており、2015(平成27)年から8,105人減少すると推計されている。

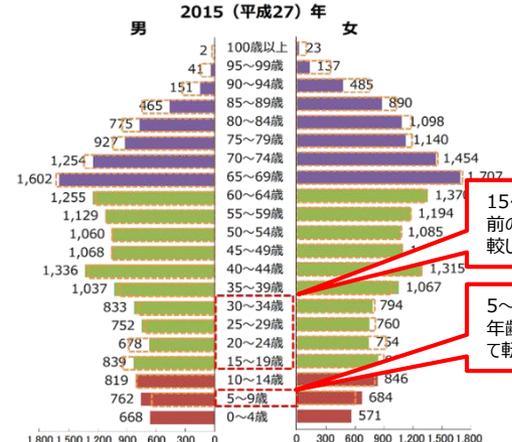
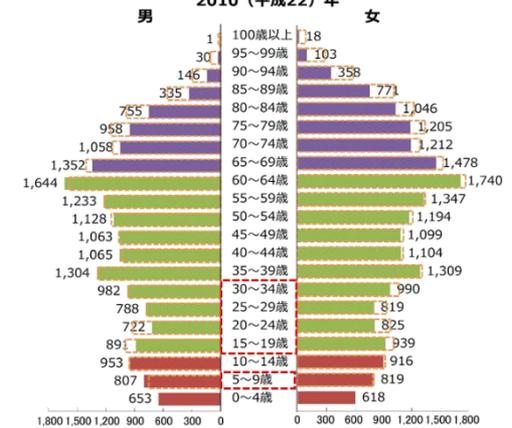
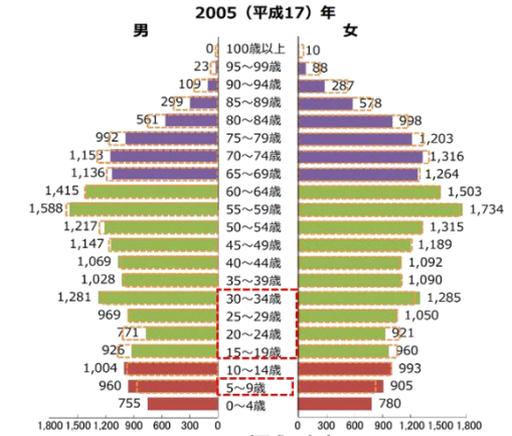
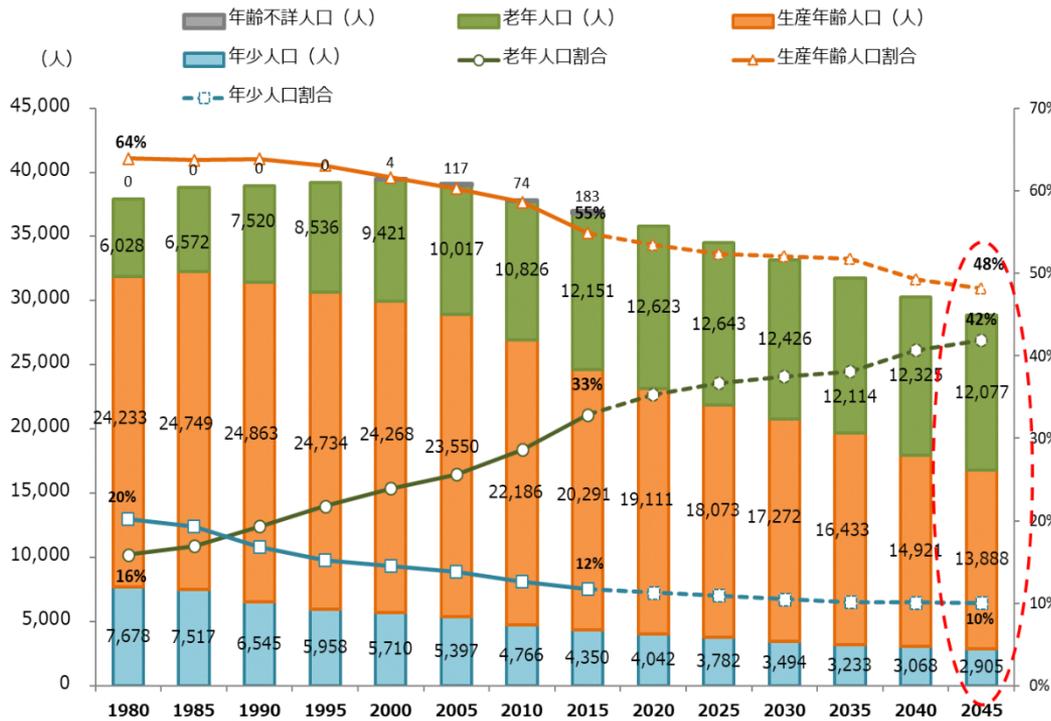


資料：2015(平成27)年までは総務省「国勢調査」
2020(令和2)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

年齢3区分別人口の推移

5年前の年齢区分の人口
(5~9歳人口なら、5年前の0~4歳人口)

生産年齢人口と年少人口は減少傾向が続いている。老年人口は1980(昭和55)年以降一貫して増加を続けており、2025(令和7)年をピークに微減する見込み。2015(平成27)年における老年人口割合は33%であり、2045(令和27)年には42%まで増加すると推計されている。



15~24歳は5年前の年齢区分と比較して転出傾向

5~9歳は5年前の年齢区分と比較して転入傾向

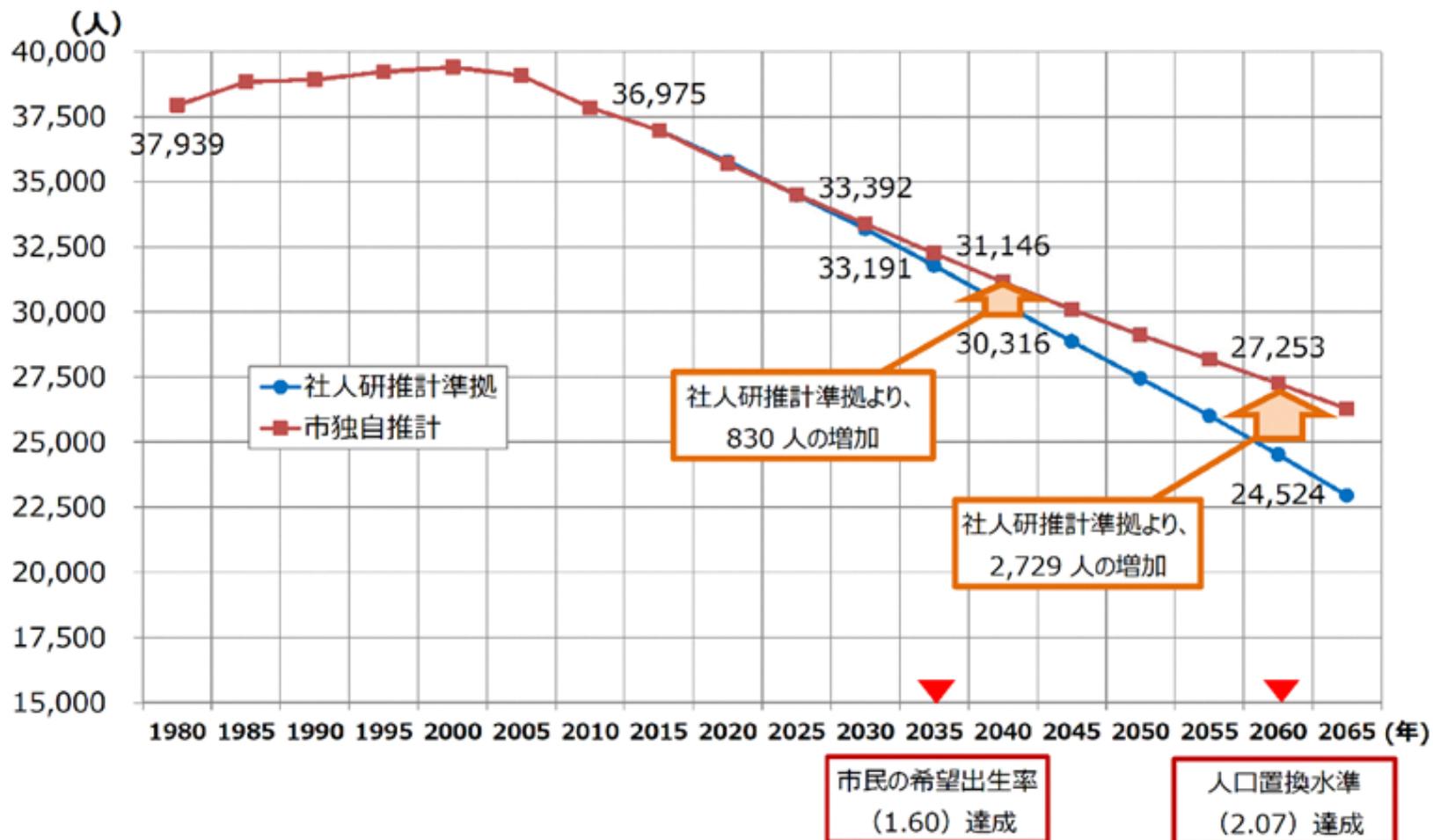
資料：2015(平成27)年までは総務省「国勢調査」

2020(令和2)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

将来の目標人口 <瀬戸内市人口ビジョン(令和2年3月改訂)>

本市の将来の目標人口

2040(令和22)年において31,000人程度、2060(令和42)年において27,000人程度を維持することを目指す。



第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略<政策体系>

総合計画に定める将来像

人と自然が織りなすしあわせ実感都市 瀬戸内

第2期「瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略」概要



地方創生推進交付金活用事業

資料 2

事業番号	1	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業			担当課	秘書広報課 文化観光課 企画振興課
事業概要 ・目的	<p>瀬戸内市は古くから朝鮮通信使の寄港地として栄えた港町である牛窓地区や、数々の日本刀が作られ刀剣の里として栄えた長船地区など、歴史と文化に彩られて発展を遂げてきており、古代からの歴史や文化が織りなす市街地環境を有している。また、県内でも随一の文化財所有数を誇り、エリアごとに特有の文化を有している。日本刀や須恵器等は、国内外への発信力を持つ資源であり、それらの地域資源を最大限に活用した魅力あるまちづくりを行うことにより、交流・関係人口を増加させ瀬戸内市のファンを増やすとともに、市民のシビックプライドを醸成し、世界に誇れる歴史と文化のまちとしての魅力的なまちづくりと転出人口の減少を図る。</p>				
実施事業内容	<p>【プロモーション事業】</p> <p>○シティプロモーターの配置 主に東京圏で人的ネットワークを構築し、瀬戸内市の情報や市のプロジェクト等市の魅力を効果的に発信し、瀬戸内市のファンを獲得し、ふるさと納税による税外収入を獲得する。 ・運用事業経費 0円（契約につながらず未実施）</p> <p>○効果的な広報の実施 瀬戸内市のホームページや広報紙などを、より見やすく、より良いものに改善し、市内外に瀬戸内市の魅力を発信し、瀬戸内市のファンを獲得する。 ・運用事業経費 WEBデザイナー 0円（候補者なしのため未実施） 広報作成補助 495,000円（広報紙紙面プラットフォーム作成） フォトライター 738,100円（メルマガ用の取材及びライティング等）</p> <p>○クラウドファンディング新手法等の調査・研究 域外からの効果的な資金獲得のため、クラウドファンディング新手法等の調査・研究を行った。 ・委託料 990,000円</p> <p>【文化・歴史資源の活用事業】</p> <p>○歴史・文化資源の活用ビジョンの策定 歴史・文化資源を核としたまちづくりビジョンを策定した。 ・策定支援業務委託料 1,980,000円</p> <p>○須恵器を活用した事業の展開 寒風須恵器の価値の再発見を目指し、製造や焼成に係る技術の確立に向けた調査・研究と情報発信を行った。 ・委託料 1,210,000円</p> <p>○文化芸術振興を推進する財団法人の検討 文化芸術振興を推進する財団法人の設立及び運営に関して予備調査を行った。 ・委託料 497,750円</p>				
事業実績額	5,910,850円（うち地域創生推進交付金2,955,425円）※補助率1/2				

重要業績 評価指数 (K P I)	主な観光施設の入込客数（単位：人）				
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R1年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)
	目標	70,412	1,000	1,000	1,500
	実績	—	15,302	未	未
重要業績 評価指数 (K P I)	歴史・文化資源を活用した起業・創業者数（単位：人）				
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R1年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)
	目標		2	3	1
	実績	—	0	未	未
重要業績 評価指数 (K P I)	今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合（単位：％）				
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R1年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)
	目標	84.4%	1.0%	1.0%	1.0%
	実績	—	—	未	未
重要業績 評価指数 (K P I)	社会増減増加数数（単位：人）				
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R1年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)
	目標	74	16	16	16
	実績	—	31	未	未
今後の課題 と方針	<p>【プロモーション事業】 初年度の予算計上後、事業の期間が短く、シティプロモーションについては契約につながらず未実施、また、R1年度3月以降、新型コロナウイルスの影響により、プロモーション事業の継続が難しくなっている。今後、新しい生活様式を実践し、状況を見ながら事業を進めていく。</p> <p>【文化・歴史資源の活用事業】 市民の文化・芸術活動の活性化を図り豊かな心を魅力あるまちづくりを促進するため、市内で活動する文化・芸術団体や地域に対して補助金を交付する。また、歴史・文化資源の活用を行う財団の設立に向けて準備を行う。</p>				
今後実施予定 の主な事業	<p>【プロモーション事業】 シティプロモーション、広聴広報支援業務、市ホームページ・ふるさと納税特設サイト再構築、ファンドレイジング事業（寄付金獲得の推進）</p> <p>【文化・歴史資源の活用事業】 刀剣・須恵器等を活用した事業、歴史文化資源保存・活用支援事業、文化芸術団体の設立準備</p>				
委員意見 ・評価等					

地方創生拠点整備交付金事業

資料3

事業番号	2	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	備前長船刀剣博物館展示室等整備事業			担当課	文化観光課
事業概要 ・目的	<p>本市の長船地区には、全国でも数少ない日本刀を専門展示する備前長船刀剣博物館があり、その一帯には鍛刀場や工房を含めた刀剣の里が整備され、日本刀に関わる職人の技を間近に見ることができる稀有な場所として評判が高まっている。また、備前長船刀剣博物館は、日本で唯一、文化庁から依頼を受けて美術刀剣の刀匠技術に関する研修会が行われているところでもある。</p> <p>国宝又は重要文化財に指定されている日本刀の多くは備前刀で占められており、中でも古くから多くの刀工が作刀を続けてきた本市の長船地区は、備前刀のふるさとと呼ばれている。刀剣の人気はもはやブームではなく、アニメ、ゲームなどの多様なメディアの素材となり若い世代に支持されているほか、外国人観光客にも人気があり、備前長船刀剣博物館に注目が集まっている。</p> <p>しかしながら、近年では、当博物館の建設当初からの経年劣化や構造的欠陥により、日本刀の維持管理及び来館者の鑑賞環境に支障が生じていることから、より適切な日本刀の維持管理環境の構築と来館者を増加させるための施設の機能強化が求められている。また、国宝の日本刀の中でも特に評価の高い「無銘一文字 山鳥毛」を、当博物館へ収蔵・展示するため、施設の機能強化の必要性が一層高まっているところである。</p> <p>このため、本施設整備事業において、展示や観覧環境の向上を中心とした施設の機能強化を図る。</p> <p>事業後は、国宝「山鳥毛」を核にした特別展（「国宝『山鳥毛』と備前刀の世界」（仮称））や他館の優品を貸借した特別展（「華麗なる一文字派の世界」（仮称））など魅力的な展示を展開することによる入館者の増加、また備前焼（日本遺産）や閑谷学校（国宝）という近隣の観光地と連携した観光振興、広島（宮島や平和公園）・岡山（後樂園や倉敷美観地区）・関西（姫路城や京都、道頓堀など）などの外国人に人気のある観光地と結んだ広域周遊観光開発、瀬戸内海をクルーズ船で訪れた外国人観光客の取り込みなどを進めて外国人を中心とした入館者の増加を図り、入館料収入の増加による博物館運営の自立をめざす（今回のKPI達成に伴って5年後には5,181千円の入館料収入が増加し、館の維持費を賄える予定）とともに、日本刀が地域の誇りと感じる市民を増やし、国内外に日本刀文化の素晴らしさを周知する。また、入館者の周辺地域への周遊を促進し、民間事業者と協働した関連商品などの開発、販売を促進することにより、地域の消費活動の活性化を図り、日本刀の聖地として魅力ある地域となることを目指す。</p>				
実施事業内容	<p>展示室の入り口の空気の流入を制限するとともに防火壁の機能も果たす扉を新たに設置 来館者と展示品スペースのそれぞれを別系統で空調管理できるようにするための配管構築 防災・耐熱機能を備えた天井構造への更新</p> <p>上記の内容を実施するために次の業務を発注する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託業務 ・工事業務 ・工事監理業務 				
事業実績額	127,380,000円（うち地方創生拠点整備交付金63,690,000円）※補助率1/2				

重要業績 評価指数 (K P I)	備前長船刀剣博物館の来館者数 (単位：人)						
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R2年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)	R4年度増加分 (4年目)	R5年度増加分 (5年目)
	目標	37,046	954	△ 19,000	21,000	2,000	2,000
	実績	—	6,707	未	未	未	未
重要業績 評価指数 (K P I)	備前長船刀剣博物館の海外からの観光客数 (単位：人)						
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R2年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)	R4年度増加分 (4年目)	R5年度増加分 (5年目)
	目標	2,345	155	△ 1,250	1,550	100	100
	実績	—	34	未	未	未	未
重要業績 評価指数 (K P I)	入館料収入 (単位：千円) ※R2年度は工事による休館期間有り						
		H30年度 (基準)	R1年度増加分 (1年目)	R2年度増加分 (2年目)	R3年度増加分 (3年目)	R4年度増加分 (4年目)	R5年度増加分 (5年目)
	目標	12,712	381	△ 7,600	10,400	1,000	1,000
	実績	—	1,696	未	未	未	未
今後の課題 と方針	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う外国人観光客の確保が困難であり、当面は国内観光客を確保するための取り組みが必要になっている。</p> <p>周辺地域や他市町村、観光事業者等と連携し、国内需要の取り込みを図る。</p> <p>国宝「山鳥毛」を核とした特別展の開催など魅力的な展示を企画する。</p>						
今後実施予定 の主な事業	<p>令和2年10月から博物館閉館（備前おさふね刀剣の里の工房は開館）</p> <p>令和2年11月から現場工事開始</p> <p>令和3年3月までに完了</p> <p>令和3年4月から開館</p>						
委員意見 ・評価等							

事業番号	3	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクト			担当課	市民課 人権啓発室
事業の概要 ・目的	世界に例を見ない歴史を持つ長島と世界遺産登録を目指し、人々への高い訴求力のある両園、本市の他の魅力ある歴史・文化資源との回遊性を高めることにより、両園と入所者の歴史を後世に伝えるとともに、より滞在時間の長い宿泊を伴う観光地として本市のこれら資源をブランド化し、交流人口を拡大させることにより、観光による誘客の促進を目的とする。				
寄付企業件数 及び寄付額	3,000,000円 (1社)				
事業始期	H30.8		事業終期	R2.3	
主要KPI	市内関連施設(市内5施設※)の入込客数 ※夢二生家、備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館、寒風陶芸会館、海遊文化館				
KPI設定根拠	本事業は、総合戦略に掲げる「郷土愛の醸成」及び「観光による誘客の推進」を推進するものであり、総合戦略に掲げる「市内の主な観光施設の入込客数」の目標の達成に寄与するものである。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
103,000人 105,000人	H31.3 R2.3		70,412人 85,714人	H31.3 R2.3	
実績値の計算方法・今後の測定方法			その他KPIの指標値・実績値/ 予算額と決算額の間には差額が生じた理由		
5施設、両園年度ごとによる入館者数調査			長島両園資料館等入場者数 指標数(R2.3) 16,500人、(R3.3)17,000人 実績値(R2.3) 14,134人		
効果発現要因 (総合所見)	R2.2月から新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数が大幅に減少したため、指標数値を大幅に下回った。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ハンセン病世界遺産登録推進協議会及びハンセン病療養所の将来構想をすすめる会岡山との連携。 ・新たな切り口での観光素材の掘り起しと体験型観光商品の開発による誘客促進。 ・人権学習素材として活用するための歴史的建造物や貴重な記録物の保存。 				
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産、世界の記憶の登録に向けたロードマップに基づき、事業を支援・展開していく。 ・地域おこし協力隊の導入により、今までとは違う切り口による啓発交流事業、人権学習の場の提供、誘客促進事業を実施する。 				

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

事業番号	4	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	瀬戸内市JR駅前等整備プロジェクト事業			担当課	建設課
事業の概要・目的	<p>市民をはじめ、ビジネス・観光等を目的に市を訪れる者にとって、主要な公共交通手段であり、また、玄関口となるのが、JR赤穂線の大富駅、邑久駅、長船駅の3つの駅である。それぞれの駅周辺にて、公衆トイレ、駅前広場、駐輪場、市道拡幅等の整備を行うことにより利便性を向上させ、通勤・通学者や市外からの来訪者が利用しやすい環境づくりを行う。また、「市の玄関口」として駅周辺をリニューアルすることにより、市のイメージアップに繋げ、観光振興、歴史・文化資源・太陽光発電等の地域魅力発信、市内企業の産業振興を図る。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大富駅、邑久駅、長船駅における駅前広場、公衆トイレ、駐輪場の整備 ・邑久駅、長船駅における観光案内施設、パークアンドライド駐車場の整備 				
寄付企業件数及び寄付額	0円(0社)				
事業始期	H29.3		事業終期	R2.3	
主要KPI	JR3駅乗車人員				
KPI設定根拠	本事業は来訪者が利用しやすい駅の環境づくりを目的としているため、JR乗車人員をKPIに設定した。指標値はJRから情報提供いただいた平成27年度の年平均の駅乗車人員数とした。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
3,100人	H30.3		3,191人	H30.3	
3,100人	H31.3		3,236人	H31.3	
3,100人	R2.3		3,232人	R2.3	
実績値の計算方法・今後の測定方法			その他KPIの指標値・実績値／予算額と決算額の違いが生じた理由		
JRのヒアリング及び朝ピーク時間の現地調査			<p>朝ピーク時間の乗降者数</p> <p>指標値(H31.3) 2,100人、(R2.3) 2,100人</p> <p>実績値(H31.3) 2,182人、(R2.3) 2,179人</p>		
効果発現要因(総合所見)	令和2年3月に各駅の詳細設計が完了したところであり、工事未着手であるため、効果は発現していない。				
課題	施工に関するJR等関係機関との調整を速やかに行い、工事に着手する必要がある。				
今後の展開	関係機関との協議を整えるとともに、地元説明を行い、今年度工事着手の予定である。				

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

事業番号	5	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	国宝「山鳥毛」購入活用プロジェクト			担当課	社会教育課 (秘書広報課)
事業の概要・目的	<p>現在、岡山県立博物館に寄託されている国宝の太刀『無銘一文字 山鳥毛』を購入し、本市の文化的シンボル・唯一無二の観光資源として全国及び海外に発信し、あわせて本市への観光客を誘致し、交流人口の増加を図る。 また、『無銘一文字 山鳥毛』の名称や画像を使用した着地型商品を含む商品開発や販売を促進し、地域の消費向上につなげる。</p>				
寄付企業件数及び寄付額	<p>H30 149,150,000円 (83社) R01 162,860,000円 (67社)</p>				
事業始期	H30.8		事業終期	R2.3	
主要KPI	備前長船刀剣博物館の来館者数				
KPI設定根拠	備前長船刀剣博物館の来館者数が本事業による新たな誘客数と相関関係にあり、実数を把握できるため。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
37,000人 40,000人	H31.3 R2.3		37,046人 43,753人	H31.3 R2.3	
実績値の計算方法・今後の測定方法			その他KPIの指標値・実績値／ 予算額と決算額の間には差額が生じた理由		
備前長船刀剣博物館の窓口での入館者実数把握			<p>○海外からの観光客数 指標値2,500人 実績値2,379人 ○「山鳥毛」関連旅行商品数 指標値10件 実績値0件 日本刀は日本文化に興味を持つ欧米人を中心に人気が高く、海外からの来館者数は訪日外国人の増加とともに増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い1月以降大幅に落ち込んでいる。 国宝『無銘一文字 山鳥毛』の購入が令和2年3月22日となったため、関連旅行商品は開発できていない。</p>		
効果発現要因 (総合所見)	備前長船刀剣博物館での「山鳥毛」特別陳列や新たな寄附方法「一口佩刀」などもあり寄附が盛り上がり、寄附目標額の達成となった。また、寄附についてメディアで取り上げられたことにより「瀬戸内市」＝「日本刀のまち」としての認知度が向上した。認知度が高まったことや「山鳥毛」特別陳列等もあり、備前長船刀剣博物館の来館者数も増加している。				
課題	購入した「山鳥毛」を活用した取り組みによる地域へ効果の波及				
今後の展開	新たに策定した「山鳥毛里づくりプロジェクト」に沿って、シビックプライドの醸成や日本刀文化の振興、観光振興等を図る。				

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

事業番号	6	実施年度	R1	検証時期	R2.7
事業名	夢二のふるさと芸術交流プロジェクト			担当課	中央公民館
事業の概要・目的	本市出身の「竹久夢二」と「音楽」とを結び付け、芸術分野のコンクールやコンサート等を実施するとともに、関連する観光資源の魅力を向上させるような取組や、市民と市との協働による芸術文化を生かしたまちづくりを進める。また、夢二の知名度を活かし、今まで本市を訪れたことのない人々を呼び込んで交流人口の増加を図るとともに、夢二を通して郷土の偉人に対するシビックプライドを醸成する。				
寄付企業件数及び寄付額	3,000,000円(1社)				
事業始期	H29.4		事業終期	R2.3	
主要KPI	本事業に係るコンクール・コンサート参加者数				
KPI設定根拠	コンクール・コンサートへの参加者数により芸術文化・音楽による活力あるまちづくりを進めることができたかの指標とする。				
指標値(単位)	目標年月		実績値(単位)	計測時期	
4,375人	H30.3		6,065人	H30.3	
4,875人	H31.3		6,770人	H31.3	
5,375人	R2.3		9,313人	R2.3	
実績値の計算方法・今後の測定方法			その他KPIの指標値・実績値／予算額と決算額の間差額が生じた理由		
プロジェクト事業内におけるコンクール・コンサートへの来場・応募者数を集計。			関連施設の入込客数(市内4施設) 指標値(R2.3) 98,000人 実績値(R2.3) 81,921人 市民団体の参画が広がり、事業参加者数が増加した。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い観光客が減少したことにより入れ込み客数は伸び悩んだ。		
効果発現要因(総合所見)	夢二コンクールでは全国的に有名な声楽家が応募するなど事業の知名度も上がっている。プレミアムコンサートでは、クオリティの高い音楽を聞きに市内外から多くの来場者が訪れた。また、夢二ドライブマップを活用して県内外から186人がスタンプラリーを達成し、市内周遊を促進することにつながった。また、事業継続により機運醸成ができ、市民が竹久夢二を通じて文化芸術事業を実施・参加する機会が増え、本事業に係る参加者数が9,313人と増加する要因となった。				
課題	事業効果を高めるため、コンクール等の高い専門性が必要な事業と、市民主体型事業、観光施策のより一層の連携が必要である。これまでの取り組みにより、参画する市民団体が増えているので、それがまちづくりにつながるようにしなければならない。				
今後の展開	夢二コンクール及びプレミアムコンサート、スクールコンサート事業は専門業者に委託し、質の高い文化芸術に触れる機会を提供する。市民参画の事業は公民館を拠点として展開する。来年度から地域資源を竹久夢二に限定せず、瀬戸内市に数多くある素晴らしい文化芸術全般にスポットライトを当てて展開するとともに、市民が主体となる自立した組織運営を目指していく。				

都道府県名	岡山県	事業実施主体	瀬戸内市	地域再生計画名	きれいな水を未来へ渡すまち瀬戸内市再生計画
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者			

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数		
	瀬戸内海海域の水質改善 放流海域の水質COD (化学的酸素要求量)	2.4mg/L 以下	H28	2.1mg/L 以下	R1	2.2mg/L	2.1mg/L 以下	R3	○	3	3	瀬戸内海海域の水質CODについては、目標値を概ね達成できた。
	若年層の定住人口の増加 社会増減増加数 (20歳から39歳まで)	—	H28	48	R1	74	80	R3	○	3	3	官民で構成する瀬戸内市移住交流促進協議会が、移住・定住に係る市のPR媒体や体験施設を効果的に活用しながらPRや受入支援に取組んだことや、市民に対してテレワークの就業機会を提供したことなどが後押しとなり、目標値を達成できた。
	汚水処理人口普及率の向上	80%	H28	83%	R1	86%	85%	R3	○			下水道事業及び浄化槽事業の整備が進んだ結果、目標値以上の成果を達成することができた。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (R1)	最終実績 見込み							
特別措置を適用して行う事業	特定環境保全公共下水道事業 【管渠整備】 牛窓・邑久・長船中央処理区	9,000m	6,252m	10,600m	今回の整備により、概ね目標通りの延長を整備することができたと考えている。引き続き水質汚濁や悪臭などの解消を図るため、下水道事業計画区域の面整備を推進する必要がある。							
	特定環境保全公共下水道事業 【ストックマネジメント計画に伴う改築】 牛窓・邑久・長船中央処理区	7,000m	—	3,000m	ストックマネジメント計画に伴い、管路調査を実施し緊急度の判定を行った結果、管路の状態が健全な箇所があったため、整備量が減となるが、事業費については、対象地区のマンホール蓋が標準耐用年数を大きく超過していることから改築を行うため増となる。R1に詳細設計が完了し、R2年度から工事を実施していく予定である。							
	浄化槽（個人設置型）	570基	253基	481基	平成29年度から現在の令和元年度までの3か年は、計画の基準値とした平成28年度と比べ、1年での実施基数が大幅に減少した。そのため中間年度での実施基数は、計画当初の見込み計画基数より大きく減少している。これを受けて計画期間を1年延伸し、残りの年度で合併処理浄化槽についての市民への啓発やホームページでの周知を行い、実施基数を最終目標基数まで近づけたい。							
その他の事業	移住定住促進事業	市職員、移住支援団体協働の移住促進及び受入支援事業			市職員、移住支援団体等で構成する瀬戸内市移住交流促進協議会を担い手として、都市圏での移住相談会への出展やホームページその他市の媒体を活用したPRのほか、空き家バンクその他制度の利用誘導やマッチングなどの積極的な受入支援を行っている。引き続き当該担い手と連携した積極的な取組や、施策の強化により最終目標値の達成に繋げたい。							
	瀬戸内海海域環境回復事業	市職員・地域住民・漁業関係者等によるボランティア清掃			H29年度に、市職員・地域住民・漁業関係者等の約100名の参加者によりボランティア清掃を実施し、瀬戸内海海域の水環境の回復を図ることができていると考えている。H30年度、R元年度においては、台風の接近により中止。今後もボランティア清掃を実施する他、観光客・地元住民の啓発を図るため、環境に係る広報活動を行い、水質改善の目標値の達成に繋げたい。							
計画外で独自に実施した事業	汚水処理施設の接続促進	接続等の促進に取り込む。			供用開始となった区域において、汚水処理施設への早期接続等を促進するため、市発行の広報誌等で普及啓発を行うことにより、水洗化率の向上につながったと考えている。							
③評価方法	「数値目標に対する中間実績値」及び「整備量や取組の計画に対する中間実績」から、計画期間内の実施事業について評価を行った。											
④中間評価の公表方法	瀬戸内市上下水道部下水道課のホームページに掲載											
⑤計画全体の総合評価	地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用した特定環境保全公共下水道事業と個人設置型浄化槽事業を一体的に実施し、特定環境公共下水道事業については、概ね目標通りの延長を整備することができたと考えている。一方、個人設置型浄化槽事業については、社会情勢等の影響により浄化槽補助対象基数が減少したと考えている。しかし、汚水処理人口普及率は目標以上の成果が得られたことから、瀬戸内海海域の水質改善にも繋がったと考えている。											
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無）					・人口減少により汚水処理人口普及率が下回る恐れがあるが、他局と連携し若年層に魅力を感じてもらえるペットタウンにするために、引き続き住環境の整備を行い、汚水処理人口の向上に寄与する。また、市発行の広報誌や市ホームページを活用し、既存の単独処理浄化槽や汲み取りからの合併処理浄化槽への転換を促進する。						
	令和3年度予算要望額への反映（有・無）					令和元年度に引き続き公共下水道と浄化槽の整備を一体的に促進することにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を促進する。						
有りの場合の増減額 増 300,000千円					◎特定環境保全公共下水道 ・管渠整備 2,285.1mを整備予定 ・管更生詳細設計業務 ・管更生工事（R3年度実施予定） ◎個人設置型浄化槽 ・114基設置予定							
⑦今後の方針等に対する対応	本地域再生計画において、特定環境保全公共下水道事業【管渠整備】については、詳細設計により下水道管の総延長が増加したこと、またボーリング調査及び現場条件から工法変更を行う必要が生じたため、整備量及び事業費の重要変更をR2年度に行う予定である。【ストックマネジメント計画に伴う改築】についても、管路調査を実施し緊急度の判定の結果、管路の状態が健全な箇所があったため、【管路施設】と同様変更を行う予定である。また、個人設置型浄化槽事業について、社会情勢の影響により浄化槽補助対象基数が減少した。そのため、事業期間を1年延長して合併浄化槽設置の促進を行っていきたい。											